

R RIVIERA

リビエラライフのためのマガジン



NO.
22

SPRING 2023

FEATURES

4 RIVIERA INTERVIEW VOL.20 彫刻家 名古屋芸術大学名誉教授

神戸 峰男 さん

TOPICS

10 The Genesis Invitational February 16-19,2023

16 Marine Life

18 アートのあるレストラン

アートに囲まれた空間で食事を愉しむ

REGULARS

2 ますますチャレンジを続けていきます

株式会社リビエラ
代表取締役会長 渡邊 昇

14 RIVIERA Sustainability Project 「第3回リビエラSDGs作品・マンガ大賞」 • 展覧会 • 授賞式・講演会・Rネクストサミット

19 Pick Up



表紙:リビエラカントリークラブ

発行
株式会社リビエラ
編集・制作
リビエラマガジン編集部

〒107-0062
東京都港区南青山3-3-3
リビエラ南青山ビル
TEL. 03-5474-8120
www.riviera.co.jp

広告のお問合せ先
リビエラマガジン編集部
TEL. 03-5474-8120

CHIEF EDITOR
渡邊 華子

EDITOR
内村 朱希
石井 小百合

WRITER
丸山 けんおう (P2, P4~9)

PHOTOGRAPHER
宮本 卓 (表紙, P2, P10~12)
Glenn (P11)

※本誌に掲載している情報、日程、営業日、営業時間、料金などは予告なく変更される場合がございます。最新情報は各ページに記載されていますwebサイトをご覧ください。

ますますチャレンジを 続けていきます

株式会社リビエラ
代表取締役会長
渡邊 昇

新緑の季節 無限の清風を感じて

初夏の日差しに若葉が輝く季節、歴史や文化、こだわりが詰まった建長寺を訪れました。ここはリビエラ逗子マリーナから車で15分たどり着く、鎌倉五山第一位の禅寺です。禅を組むと、さまざまな依存や束縛から解放され、心が整い、思考が研ぎ澄まされていきます。

僧たちは、悟りの境地に達するために、目の前の修行をひたすら一生懸命に行うことで、余分な事を考える間がなくなり心が整うといえます。これは、私が愛してやまない洋上でただただ風を感じることや、リビエラの理念のひとつである「磨き上げ」にも通じること、改めて気づきました。

無心になることで、心が整い、人間性が磨かれる。「無限の清風」は、人の心のありようと場が持つ力がつくり出すものだ、つくづく感じました。この精神性は国や文化の違いを越え、770年の時を経て私たちの心の琴線に触れています。

年齢の壁を越えて戦う タイガーの弛まぬ努力

4月に開催され、熱戦を博したゴルフの祭典「マスターズ2023」を制したジョン・ラーム選手は、リビエラカントリークラブ(RCC)で開催した「ジェネシス・インビテーション」の今年の覇者でもあります。「優勝者リストにタイガー・ウッズとジャック・ニコラスが名を連ねていないゴルフコースは、RCCのほかには、そのRCCで勝てたことが、とてつもない名誉だ」とのラーム選手からRCCへの讃辞を、誇らしい気分でも聞いたものです。

タイガーは「20年前は、100ヤード手前からもピンに入ると思えた。今、若い選手と同じことはできないが、経験を積んだからこそこそできることもある。それを

一生懸命やりたい。できれば予選も通過したいし、上位に食い込んでいけるよう頑張る」と話してくれました。

タイガーとは、31年の付き合い。彼は16歳で、私は43歳でした。大きな事故での怪我也克服し、歳を重ねて今なお挑戦し続ける彼を、私は心底カッコイイと思っています。ゴルフを愛しゴルフ界のために尽力しながら、一人のプレイヤーとしても打ち込み続けるタイガーは、私が最も尊敬する人のひとりです。

社員はファミリー 共に挑戦を続ける

6年半かけてレストラン(完全修復)を完遂した1927年進水の大型木造帆船「シナウラ」や最新鋭艇SWAN58「クオリアリビエラ」で、社員たちから選ばれたクルーと共に毎週のように海に出ます。そして大自然のエネルギーが横溢する中に身を置き、彼らと対話する時間を大切にしています。私からは、リビエラのイズムや自分の経験と感してきたことを語ります。社員は、私にとって子や孫と同然のファミリーです。大海原の風に包ま

れて彼らが成長していく姿を見るのが、私の喜びです。理念と哲学は不変です。そして変革への挑戦は続きます。

海洋保全是 すべてにつながる

自治体、企業、各種団体にも共感が広がり、共に取り組む「LOVE OCEAN」が今年もいよいよ始まります。

海に囲まれた日本での海洋環境保全活動は、観光振興、レジャー・スポーツ振興、地方創生……等々すべてにつながります。「人と人」と「海とまち」をつなぎ、サステナブルな活動でブルーエコノミーを推進してまいります。



彫刻家
名古屋芸術大学名誉教授

神戸峰男さん

Mineo Kambe



自然美が持つ普遍性を この手で表現し続けたい

インタビュー：渡邊華子

今年のNHK大河ドラマの主人公は徳川家康。“狸親父”とはまるで異なる人物造形が何かと話題ですが、生誕地・東岡崎の駅前ペDESTリアンに立つブロンズ像の家康もまた、この歴史人物のパブリックイメージを変えました。高さ9.5メートルに及ぶ日本最大級の家康像は、凛々しい面持ちで駿馬の手綱をさばく、まさに英雄的な佇まい。この騎馬像の作者が、日本を代表する彫刻家・神戸峰男さんです。神戸先生とその作品に、リビエラはかねて熱く共感してきました。自然と風土を大切に、歴史に学んで掘り下げていくその作風は、リビエラがめざすものと相通じているからです。

Profile 神戸峰男 Mineo Kambe

かんべみねお：1944年、岐阜県土岐市生まれ。武蔵野芸術大学では清水多嘉示、木下繁に師事。同大学卒業翌年の68年、日展初入選。以後、日彫賞、日展特選、日本藝術院賞等受賞多数。88年、名古屋芸術大学教授。2002年、中国新疆芸術学院客員教授。03年、名古屋芸術大学美術学部長。09年、日展理事。12年、日本藝術院会員。14年、名古屋芸術大学名誉教授。16年、日本彫刻会理事長。18年、日展副理事長。22年、公益社団法人日展事務局長。

歴史ある工芸の家に生まれ 夢中だった弓道からの転身

——“陶磁器生産量日本一”の美濃焼の街としても知られる岐阜県土岐市。神戸先生は、この歴史と文化の街のご出身です。
神戸 長く続いた製陶業の家に生まれました。

——武蔵野美大での学生時代を除いて、岐阜の地で旺盛な創作活動を続けておられます。故郷でどんな少年時代を過ごされたのですか？

神戸 三人きょうだいの真ん中ですが、姉と弟に挟まれた長男だから、周りからは、跡取りと目されてはいたと思います。でも、う

ちの親は「後を継げ」と強要することはなかった。

だから、将来のことを特に意識することはなく、のんびりとした子ども時代をすごしました。親としては、「どうせ後を継ぐと決まっているのだから、それまでは好きにしてよい」ということだったのかもしれない。

——代々工芸家のお家柄なのが先生の彫刻家としての素地を形成したということでしょうか。



1歳の誕生日(終戦の5日前)

神戸 彫刻を立体造形に取り組み上での基礎のようなものと、無意識のうちに感じていた…ということとはあるのかもしれませんが、でも、子どものころの私は、彫刻など意識したことはなかった。人々が神社に集まって盛んにやっていた弓道には心惹かれて、高校・大学では弓道部に所属して、全国大会に出たりもしました。

彫刻科への進学 刺激に満ちた東京での生活

神戸 美大に合格して東京に出てきてみたら、東京オリンピックの準備で大盛り上がりしていたわけですよ。

東京には6年間いたのですが、

非常に刺激に満ちた学生生活でした。アルバイトも初めての経験でした。その初出発が、東京五輪のメインスタジアムになる国立競技場の壁面づくりでした。

材料運びや現場職人の助手なんですが、美大一年生としては、「世の中には、これほど楽しいことがあるのか!」という感覚でした。

それから今日までの60年間は、その延長線のようなものです。この積み重ねで今日につながった。そう思っています。

——湧き上がる創作意欲にかられて、表現ジャンルを彫刻に求められたのですか？

神戸 私以外の彫刻家はそうかもしれないですね。若いころの私はあ

まりにも無知だったせいもありですが、絵画も彫刻も陶芸も造園も、どれも表現としてはさして違わないだろうと思っただけです。実を言えば、今もそう思っていて、その差異をほとんど意識せずにやってきました。広い意味ではないけれども造形であるし。彫刻なら造形の基礎を学ぶにふさわしい……まあ、後付けの理屈ですが。

自然美を追求すると「裸婦」に行き着く

——先生の多彩な創作活動の中でも、ことによく知られているのが『裸婦像』です。現在は副理事長をお務めの日展でも、裸婦をモチー

フとした作品で繰り返し賞を受けています。

神戸 「裸婦」は美の形を追求する過程において、大きな目標であり、選択肢なんです。

最近の美術教育では、写生、デッサンから入るという方法を取らないことも増えていると聞いていますが、自然の摂理・造形を知るためには、やっぱり「デッサン」は避けて通れない。

それは自然を学ぶことであり、人間そのものを知ること。それが美学生たちの将来の可能性を広げることにもつながる。私自身そういう美術教育を受けて自分の幅を広げることができたと思っています。



「朝」第64回 日本芸術院賞(2008年)

「何でもできる」は「何もできない」のと同じ

——ご自身の作品の中で、特に印象に残っているもの、あるいは転機となった出来事は？

神戸 大学生時代の東京五輪がそうだったように、1988年のソウル五輪がひとつの転機でしたね。この五輪大会にあわせて、ソウル・釜山に地下鉄が開業し、駅構内を陶壁画で装飾するプロジェクトが立ち上がったのですが、ある縁から、私が制作・指導を担当することになったんです。2年間、毎週のようには韓国に通いました。42〜43歳のころのことです。

陶壁の作品をたくさん制作したのですが、その仕事をやり切ったとき、「焼き物との関係に一区切りついた」という思いになりました。

それまでは、彫刻家としての仕事の傍ら、請われれば茶碗もつくつたし、大きな焼きもののオブジェもつくった。

私は27歳で名古屋芸大に職を得て、創作活動と並行して、学生たちとの語り合いを続けてきたんです。しかし、学生に向けて発した言葉

を自分の作品の中で裏付けるのは容易いことではなかった。

何でもできるマルチ作家というのは、何もできないのと同じじゃないのか？以来、仕事としての作陶はほとんどしなくなりました。決別というのではなく、少し距離を置いたという感じですね。

豊富な留学経験 未知の世界から新たな発見

——プロフィールに「2002年、中国新疆芸術学院客員教授就任」とありますが……？

神戸 「人の営み・姿」を求め西洋を中心に旅してきましたが、58歳の時に国費の留学制度に応募しました。出かけるからには新たな発見をしたかったし、未知の世界に身を置いてみたいとも考えていました。

彫刻界での留学はヨーロッパが主流といわれる中、私は新疆ウイグル自治区を希望しましたが、ウイグルには1年いました。最初の3ヶ月は留学生として、その後、客員教授に就任したことで、中国の多くの方々とも交流が持てました。

この体験は、私に新しい視点を

でありたい。今は、作品テーマをシリーズ化することになっています。

テーマに沿って自分の作品を、どう醸成させていくかということに取り組みはじめて、20年程になります。

徳川家康像を街の人々のイメージで

——「家康像」もシリーズ連作ですね。今年は大河ドラマもあって、徳川家康公に新たなスポットがあてられています。

大河ドラマの家康は「どうするだろう」と悩む優柔不断でナイーブな青年になっていますが、先生の家康もまた、まったく「狸親父」

的ではありません。

神戸 東岡崎駅前の「騎馬像」では、制作にあたり岡崎の人たちからアンケートをいただきました。

色々な意見が集まってきたわけですが、その多くが、力強い武将のイメージを抱いているとわかってきた。小さなお子さんたちが、カッコいい將軍のイラストを描いて送ってくれたりもしてね。

でっぷりと肥えた狸親父のイメージじゃないんですよ。

歴史も調べていくと、家康公という人は、「東海一の弓取り」と称賛された弓道の達人でもあったというのです。



ウイグル時代 タクラマカン砂漠をロバでまわる

くれました。

それまで私が学んできたのは、要するにヨーロッパ人的価値観を普遍的なものとして捉えてきて、それで40年ほどやってきた。ふと思いついて、ウイグルという異文化圏に飛び込んでみたら、そこには自分たちの風土・文化を背負った人たちがいて、彼らは彼らなりの歴史観でモノを見ているということ。を、改めて肌で感じたんですね。そして、その地域の歴史や文化を知り、交流することの大切さも感じました。

価値観の多様性に改めて気づいた

私たちが彫刻家は、彫刻作品を通じて発言する。つまり私たちが持つ彫刻とは言語です。感覚の発露



2019年に設置された「徳川家康像」(愛知県岡崎市)



「徳川家康像」制作風景

——弓道に打ち込まれた神戸先生の学生時代とも重なっていますね。神戸 彼が名手だったというのは言い伝えて、本当かどうかは、また別の話です。でも、岡崎の人々の中には厳然とそのイメージがあつて、期待もしている。

集まってきた街の声に、私自身、大いに触発されました。そうしたものが渾然となつて、総合的にあの形に収まったわけですね。

——歴史をテーマとしても、必ずしも「史実」を形にするということではないのですか？

神戸 歴史上の出来事を形に残すことだけが目的なら、事実を

調べて忠実に描くのでしようが、それだけでは作品になりません。また、よく知られている歴史

上の人物をモチーフとした彫刻作品は、鑑賞する側も、その人物について、ある程度の知識や印象を抱いていることが多い。作者としては造形性を一番に、さらに時代背景と風土、とりま

く人物相関なども必要な要素です。今を生きている子どもたち若者たちがその彫刻作品を観たとき、人物への憧れと共に自分と重なるものをどこかに感じて、夢を持ってくれたら素晴らしいと思っ

美術をもう少し「基礎教科」に寄せたい

——子どもたちというお話が出ましたが、若い世代に彫刻の魅力を継承していくために、取り組んでおられることはありますか？

神戸 日本でも、公園や駅前のモニュメントとか女性像など、多くの彫刻を見かけますが、なぜそこに必要なのか？という言葉も耳にします。もつと明快な、観る人が「なるほどね」と思ってくれる彫刻作品があつていい。そのわかりやすさを、現代の彫刻家が、芸術作品としてどう昇華させていけるか。今はそんなことを考えています。



同志でもある奥様 彫刻家の長尾睦子さんとパリにて

神戸 若いときなら勢いだけでも何とかやれる。作品の持つ勢いは、それはそれで魅力的なものです。しかし、年を重ねていくと、それだけでは成り立たなくなってくる。だからこそ、「作品としてどう見せていくか」です。「これでいいのか」と自分に問い続けるにつきる。自己否定を重ねることになるんだけど……でも、自己否定って、自分ひとりではなかなかできないじゃないですか。

——その点で先生には、奥様という強い味方がおられます。神戸 そうねえ……まあ、苦しいときに気遣いしてくれる、同志です。妻とは18歳のとき、武蔵野美大の入試の日からの付き合いです。以来60年です。

古いだけでも価値でも、人に磨かれてこそ

——現役作家として、「古美術」へのこだわりも相当だとか。神戸 古いというだけでも価値です。形あるものは壊れるのが必然。湯呑み茶碗は床に落とせば割れてしまいます。でも使う人が大切に扱えば、何十年も何百年も形が残る。そうやって今に伝えられたのが優れた古美術品であり、アンティークです。

人が持ち続けられてきたということが肝心。人が手許に置いてきたものでないと、つくった人や

ベテランにこそ不可欠な反省

——副理事長をお務めのいまま、毎年、日展に新作を出展されているとか。

神戸 私には制作のサイクルというものが必要だと思っています。たとえば四季の移り変わりが、作家にはうまく作用するんですね。

使ってきた先人たちの熱量が伝わってこない。その上で長く残ったものにこそ価値があるんです。シナラがまさにそうですね。私もシナラを拝見しましたが、100年前の人の温かみに加えて、変化する自然の美が100年分詰まっていると感じました。

——まさに「我が意を得たり」のお言葉です。シナラのほか、池袋のリビエラ東京は74年、リビエラ運子マリーナは52年、リビエラカントリークラブはまもなく100年。私たち自身の手で日々磨き上げて、今に至っています。

神戸 創り手としての私は、時代を超えた普遍性を表現したいと願ってきました。この世界で最大の普遍性を持つものといえば、自然から生み出された造形です。

まだまだ未熟で半端な仕事しかできていないし、死んでもたどり着けそうにないとも思っています。が、私はこの先も自然美を持つ普遍性を、自分の手で形にしていこうことに挑んでいきます。

——世界とつながる相模湾から、日本の芸術文化を国内外に向けて発信していきたいです。ぜひ一緒に！！



パリのユネスコ本部で開かれた個展で各国代表に解説

——先生ほどの大家でも、ぎりぎりまで苦しまれるのですか？

日展のような年に一度の公募展もそうです。

私にとって日展は、反省の機会も与えてくれる。これがいいんです。「よし、これだ」と思っ

The Genesis Invitational



予選にもタイガー・ウッズ選手を取り囲む大勢のギャラリー



左:2023年優勝 ジョン・ラム選手
右:オーナー 渡邊昇



3年ぶりに出場したタイガー・ウッズ選手



February 16-19, 2023

タイガー・ウッズ 3年ぶりの出場に湧く

米国L.A.にあるリビエラクラブのフラッグシップ「リビエラカントリークラブ(RCC)」では、今年も2月に、PGAツアー「ジェネシス・インビテショナル」を開催しました。タイガー・ウッズ財団が2017年よりオペレーションを務め、2019年より招待試合に昇格した今大会。賞金総額は、昨年より800万ドル増額された2000万ドル(26億4000万円)、そして、優勝賞金216万ドル(2億8500万円)へ。

今年注目されたのは、やはりタイガー・ウッズ選手の出場。2021年2月の大怪我を乗り越え、昨年4月のマスターズで復帰したものの、PGAツアーのレギュラー大会への出場は2020年10月以来。ジェネシス・インビテショナルには3年ぶりの出場でした。

タイガー・ウッズにとっては、当時16歳でPGAツアーに初出場した思い出の地であるRCC。だからこそ今大会への出場を、手術後のリハビリ中、常に目標としていたそうです。

タイガー・ウッズのプレーを観戦しようと詰め掛けた大勢のギャラリーは、彼の一挙手一投足に注目し、特にティーグラウンドや18番ホールでのショットを放つ姿をなんと写真に収めようと、ほぼ全員がスマホを掲げ、戦うレジエンドの勇姿に釘付けでした。ギャラリーの中には、おそろいの赤黒のウェアや着ぐるみを身に着けた人も。ここ数年で一番の盛り上がりを見せました。

そして何より、一時は切断するかもとまで言われた右足を引きずり、水で冷やし、痛みに耐えながらプレーをしている姿は、多くの人に感動を与えました。大会直前に、「腰を手術して足も痛いけれど、試合に出る以上は常に優勝を目指す」と話していたタイガー・ウッズでしたが、試合後には、「自動車事故から復帰後のベストスコア(26位タイ)という点では最高のラウンドができた。4日間歩き切ったことも大きな進歩。僕自身は勝てなかったが、大会は大成りに終わり『勝利』した」と、満足した様子で話してくれました。

来年も各選手の真剣な戦いを見るのが、今から楽しみです。

最後の一打まで息をのむ攻防 48年ぶりの快挙

今年優勝したのはジョン・ラー
ム選手。一昨年優勝したマックス・
ホマ選手に一時は首位を奪われた
ものの、直後に挽回する粘りを見
せました。PGAツアーの初戦か
らたった2カ月で3勝を挙げたの
は、1975年のジョニー・ミラー
選手以来48年ぶりの快挙です。ま
た、世界ランキングでも、昨年3月
以来で1位に返り咲きました。



左:2023年優勝 ジョン・ラーム選手 右:大会ホスト タイガー・ウッズ選手

ツアーは来季から、メジャー4
大会、ザ・プレイヤーズ選手権、ブ
レーオフシリーズ3戦のほか、8
つの大会を上位大会と定め、出場
選手を70〜78名に絞り、全員が4
ラウンドを戦う形式に変わります。
ジェネシス・インビテーションナル
はその上位大会に選ばれました。
これまで120名の選手で予選を
戦い、通過した選手だけが後半2
日間の決勝に進む形式でしたが、
トップ選手のプレーを4日間通し
て観戦できるという点では、トー
ナメントの楽しみ方が変わり、期
待も高まります。

100周年を見据え ロス五輪まで駆け抜ける

RCCのコースの芝は、弾力性
がありクラブが絡みつくようなラ
フのキクユ芝と、目の強いグリー
ンのポアナ芝が特徴。それゆえ、ブ
ロ選手でさえも、難しさに苦戦し
ています。

その芝を常に最高の状態に保
つために、RCCのコースメンテ
ナンススタッフたちは、夜明け前
から作業します。日々グリーン
を磨き続けている彼らが見据え
ているのは、2026年のRCC

100周年

「古き良きモノを磨き上げ次の世
代へ」というリビエラグループ共
通の理念のもと、最新の技術を用
いながらも、コース自体は設計当
時の姿を取り戻すための改修を続
けてきました。今夏は、大きな工事
も控えています。そして、100年
という歴史あるクラブハウスもま
た、リビエラにとっては貴重な文化
財。この歴史を後世に紡いでいく
ため、クラブハウス全体のミュー
ジウム化に向けた動きも加速させ
ています。

2026年には、全米女子オープ
ンをRCCで初開催します。そし
て2028年のロス五輪では、RCC
が男女ゴルフ競技の会場となり
ます。全米有数のゴルフコースで
は、男子大会が主流でしたが、女子
の大会を開催できることは、ジェ
ンダー平等という観点からも意義深
いもの。SDGsにも力を注ぐリ
ビエラにとって、栄誉なことです。
早くも、USGA、IOC関係者
との打ち合わせは始まっています。
100年の歴史・魅力をこれら大
きな大会で存分に発揮できるよう、
コースや施設はもちろん、人間力
も磨き上げていきます。



古き良きモノを磨き上げ 次の世代へ

6年半のレストアプロジェクトで甦った
フラッグシップ

CYNARA
1927
RESTORED 2017-2020



*「シナーラ」の商用運航は
行っておりません



最高の芝をつくり上げるコースメンテナンスのスタッフたち



前方右：神奈川県知事・黒岩祐治氏 前方左：海洋冒険家・白石康次郎氏
後方右：逗子市長・桐ヶ谷覚氏 後方左：葉山町長・山梨崇仁氏

「Rネクスト」は、Z世代支援を目的としたコミュニティです。神奈川県知事、逗子市長、葉山町長、白石康次郎氏をパネリストに迎え「Rネクストサミット2023」も開催。8名のZ世代の子どもたちが同じ壇上に立ち、未来への想いや自分のアクションを、「Z世代の

Rネクストサミット2023 大人を動かす子どもたちの声

すれば、絶対に解決できると信じている。君たちには、この環境問題を作った大人の考えている事とは、まるっきり別次元で、考えてほしい」



第3回リビエラSDGs作品・マンガ大賞

2/4-2/26 展覧会(作品募集期間:2022/10-11)

2/5 授賞式・講演会・Rネクストサミット

@リビエラ逗子マリーナ

地域も世代も越えた サステナブルムーブメント

公募展「リビエラSDGs作品・マンガ大賞」の展覧会をリビエラ逗子マリーナで開催しました。これは、リビエラ未来づくりプロジェクトの一環として、サステナブルムーブメントの裾野の広がりを目指し2020年から継続するアワードです。昨年の第2回には、小中高生を中心に410点の応募がありました。今年も「誰一人取り残さない」をモットーに、新たに「SDGs・川柳大賞」が追加され、前回の3倍を超える1,446点の応募が寄せられました。応募者は、北海道から沖縄までの35都道府県の5歳から84歳まで、幅広い年齢層から、多様性あふれる唯一無二の素晴らしい作品が集まりました。環境に関するSDGs作品が全体の55%以上を占め、特に「海の豊かさを守る」が37%以上であったことは、海に囲まれた日本ならではの。私たちが取り組む、海の環境を守りながら魅力発信する「LOVE OCEAN」を通じて、多くの方々を手を携えることにより、持続可能な社会づくりに貢献できる



SDGsバックヤードツアー



白石康次郎氏の講演

先生」として共有し合いました。前回のサミットで葉山町長がファシリテーターを務めた際には、小5児童が発信した「給食牛乳のプラスチックストロー廃止への活動」が話題になり、それを受け、葉山町では今年4月からバイオマスストローに切り替えることが発表されました。立場や世代を越えてSDGsを共に考え、素晴らしい取り組みが生まれたことは大変喜ばしいこと。リビエラSDGs作品・マンガ大賞やRネクストサミットでの発信が、具体的なアクションにつながったことを目の当たりにし、改めてこの取り組みの

と考えています。また、世界的に広がるジェンダー意識の高まりやウクライナ情勢など、グローバルに考え幅広い視点からアプローチした子どもたちの応募作品は、多くの大人たちに深い考えを呼び起こし反響を呼んでいます。

知事・市長らも集い 盛大な授賞式

会期中の2月5日には授賞式を開催。神奈川県知事をはじめ、豊島区、三浦市、横須賀市、葉山町、逗子市、鎌倉市、藤沢市の首長や教育委員長、企業・団体などのプレジデントから、多数の賞が授与されました。

別次元で考えて 無味無臭の敵に立ち向かう

世界中の海を航海する海洋冒険家の白石康次郎氏が、海洋環境の変化や行動することの大切さを、未来を担うZ世代に向けて、授賞式後の講演会で熱く語られました。「昭和40年代の海は悪臭がして、泳ぐと油が付くほど誰が見ても汚かった。だから問題意識も高く、対策が講じられた結果、見た目はとても綺麗になった。しかし、今の海

意義深さを感じました。

作品・マンガ大賞を受賞した Z世代の登壇者より

「人の行動が環境負荷に影響している現状をもっと知ってほしい」「先人たちの知恵をヒントに、SDGsを知らない人、難しいと思ってる人に、誰でも理解しやすいように発信していきたい」「戦争がなく、魚も動物も植物もみんなが仲良く暮らす未来にしたい」

【主催】リビエラSDGsアクション実行委員会
【共催】NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト/
株式会社リビエラリゾート/株式会社リビエラ東京
【協賛】アサヒビール株式会社
【協力】株式会社アディスマーズ【寄附】田中 豊様
【後援】神奈川県/横浜市/豊島区/逗子市/三浦市/鎌倉市/葉山町/藤沢市/横須賀市/平塚市/神奈川県教育委員会/横浜市教育委員会/豊島区教育委員会/逗子市教育委員会/三浦市教育委員会/鎌倉市教育委員会/葉山町教育委員会/藤沢市教育委員会/横須賀市教育委員会/平塚市教育委員会/東京都私立初等学校協会/一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会/神奈川県私立小学校協会



受賞作品はこちら ▶



にはやっつかいな敵がいる。それは目に見えなくて無味無臭のマイクロプラスチック。でも、「地球を守りたい」という熱い思いを声を大にして訴え、そして君たちが行動

第9回リビエラSDGsフェス

国際女性デーに語る2023 ~私たちの未来~

3/8(木) WEB公開 国際女性デーに語る2023 私たちの未来 リビエラSDGsフェスvol.9

3月8日の「国際女性デー」に合わせ、さまざまな立場・年齢の方が、『サステナブルな世の中のために』をテーマに発信。私たちの未来に向けて、バックグラウンドの異なるすべての人たちが持てる力を発揮でき、自分らしく幸せに生きられる、公平な社会になっていくことを願っています。

- 登壇者
- 松丸 佳穂氏(認定NPO法人ルーム・トゥ・ワールド・ジャパン事務局長)
 - 三宅 道子氏(料理家)
 - 海部 優子氏(ジャパン・ハウス ロサンゼルス館長、ハリウッド商工会議所理事、UCLAテラサキ日本研究センター理事)
 - 小林 昭雄(株式会社リビエラ東京・株式会社リビエラリゾート代表取締役社長)
 - 渡邊 メーガン 富士子(リビエラカントリークラブ社長)
- Z世代の子どもたち

「国際女性デーに語る2023」視聴はこちら ▶





ブルーフラッグとは、1985年創設の国際環境認証。ヨーロッパを中心に約5000取得。国内では7カ所のうち、神奈川県は4カ所取得 ※2023年3月現在



5/13(土) - 6/18(日)

第4回 Love Ocean

美しく豊かな海を守る
人と人・海とまちをつなぐ

美しい海には人が集まる

スポーツとコラボ!
5/14 平塚 日本バレーボール協会
5/20 鎌倉 湘南ベルマーレ

神奈川県沿岸13市町で「SHONAN Coast」ビーチクリーン駅伝!

リビエラ湘南ビーチクリーン

日時	時間	市町	開催地	集合場所
5/13(土)	9:00	湯河原町	吉浜海岸(湯河原海岸)	文化福祉会館前あたり
	11:00	真鶴町	岩海岸	岩海岸
	13:00	小田原市	御幸の浜	御幸の浜通り先
	15:00	二宮町	梅沢海岸	梅沢海岸
5/14(日)	9:00	大磯町	大磯北浜海岸	津波避難タワー前
	11:00	平塚市	湘南ベルマーレひらつかビーチパーク	ひらつかビーチセンター近く
	13:00	茅ヶ崎市	サザンビーチちがさき	サザンビーチちがさき
	15:30	藤沢市	江の島	江の島北緑地広場
5/20(土)	9:00	鎌倉市	由比ガ浜(※七里ガ浜)	由比ガ浜滑川交差点先
	11:00	逗子市	小坪漁港	小坪天王浜
5/21(日)	9:00	葉山町	森戸海岸	みそぎ橋先
	11:30	横須賀市	和田長浜	和田長浜海岸
	14:00	三浦市	小網代湾	小網代会館前

お好きな時に、お好きな場所からスタート! 5/13(土)~6/18(日)

サイクリング「ツール・ド・SHONAN Coast」
ナショナルサイクルルート(太平洋岸自転車道路)

主催:リビエラSDGsアクション実行委員会 主管:NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト
共催:株式会社リビエラリゾート/株式会社リビエラ東京/一般社団法人日本海洋アカデミー
後援:神奈川県/逗子市/鎌倉市/葉山町/三浦市/横須賀市/藤沢市/茅ヶ崎市/平塚市/大磯町/二宮町/小田原市/真鶴町/湯河原町/かながわ海岸美化財団/公益財団法人日本バレーボール協会/一般社団法人神奈川県ラグビーフットボール協会/公益財団法人日本セーリング連盟/神奈川県新聞社/株式会社テレビ神奈川/特定非営利活動法人日本災害医療支援機構(JVMAT) 協力:NPO法人NAZe ※七里ヶ浜

5/21(日) 会場:リビエラシーボニアマリーナ

リビエラフィッシングマスター2023初夏
海洋自然環境を発信する釣り大会

6/11(日) 秋谷沖上下コース2レース

クリーンセーリングレガッタ2023
海洋自然環境を発信するクルーザーヨットレース

6/18(日) 会場:リビエラ逗子マリーナ

海のシンポジウム
海から考える未来 海に想いを馳せ、楽しく語ろう
同時開催:リビエラマルシェ

海沿いランニング

海を愛する仲間を募集中! 参加方法・集合場所ははこちら

※イベントの最新情報はHPをご確認ください



「マダイとマアジの釣果」を競うこのポर्टフィッシング大会は、自然豊かな海での釣りだけでなく、海洋環境保全も発信していきます。LOVE OCEANの一環で開催されるこの大会では、海上で拾ったプラスチックごみを検量条件に含め、参加者にはクリーンアクションを釣りと一緒に楽しんで行っていました。

釣り好きの皆さま!! 素晴らしい自然を満喫し地球にやさしい週末を楽しんでください。

海を愛するセーラーの皆さま! クリーンレガッタに参加して、海洋自然保護を発信するクリーンアクションをしませんか? 本格的なレーサーから初心者まで参加できます。マイボートの利用をはじめ、プラスチック製品の持ち込みを避ける配慮や海上のゴミ拾いなどを行います。皆で美しい海を守っていきましょう。

※毎月開催「Shonan Race」(JSAF三浦外洋セーリングクラブ・リビエラリゾート共催)と同時にあります



神奈川県より指定管理委託江の島ヨットハーバー(湘南港) 1964年の東京五輪のために造られた「江の島ヨットハーバー」は、2度の東京五輪セーリング競技を開催した歴史があり、世界中のセーラーからも知られたヨットハーバーです。

『開かれた公共港』として海洋普及やヨット活動の普及を目指し、リビエラは2023年4月1日より江の島ヨットハーバーの指定管理と整備工場の運営を開始いたしました。

MARINA LOUNGE オープン

大切なゲストをマリーナにお招きする際や商談など、ワンランク上のマリライフを演出できるラウンジが、リビエラ逗子マリーナ内にオープンしました。リビエラリゾートクラブと、逗子・シーボニアの艇置メンバー様には、予約制でご利用いただけます。

木目調の落ち着いたインテリアを用いたラウンジで、くつろぎのマリーナリゾート時間をご堪能ください。



リビエラ逗子マリーナ

愛犬に嬉しい
「DOGGY GARDEN」

愛犬がリードなしで楽しめるドッグガーデンが、5/13「愛犬の日」に誕生。リビエラ逗子マリーナは、レストラン・カフェやホテル宿泊でも愛犬同伴が可能です。

※愛犬用ごはん・バースデーケーキも、マリブファームで提供

【時間】平日/11:00~18:00 土日祝/10:00~18:00

【金額】1匹90分500円(税込)+カフェにて1ドリンク(来場者全員)

※リビエラのメンバー様(リゾートクラブ・艇庫・マンション所有)やホテル宿泊、レストランでお食事のお客様は、それぞれ特別料金を設定しています。詳しくはHPをご確認ください。
※混雑時は、時間制限・入場制限する場合がございます

ご予約・お問合せ

マリブファーム 逗子マリーナ TEL.0467-23-0087



リビエラ逗子マリーナ

SHONAN JAZZ BY THE SEA
~リビエラ逗子マリーナのジャズライブ~

7/1(土)
ルイス・バジェ&コングリ・クパーノ

9/2(土)
小野リサ

目の前に水平線が広がり、幻想的なサンセットを眺める絶好のロケーションに大人が集うジャズライブ。日本を代表する豪華なアーティストの演奏を、ライブハウスのように近距離で、臨場感あふれるライブをお楽しみいただけます。

【参加者限定アーリーディナー】

当日ライブ前のディナー好評受付中

【時間】16:30~ 【金額】9,075円(税・サービス料込)

【TEL】0467-23-0087(マリブファーム 逗子マリーナ)

【宿泊】

ホテル宿泊をご希望の方は

事前にお問い合わせください

【TEL】0467-23-0077(マリブホテル)

ご予約・お問合せ

湘南ビーチ FM TEL.046-870-3313



レストランテAO 逗子マリーナ

6/3(土)~6/19(月)
初夏の旬づくし

初夏の旬の食材を味わう2週間限定のイベント。リビエラ逗子マリーナの中でも、一番真近に、そして綺麗に相模湾・江の島・富士山を見渡せるレストランテAOは全席オーシャンビュー。絶景を眺めながらゆっくりとお食事をお楽しみください。

【時間】ランチ/11:30~15:30(14:00L.O.)

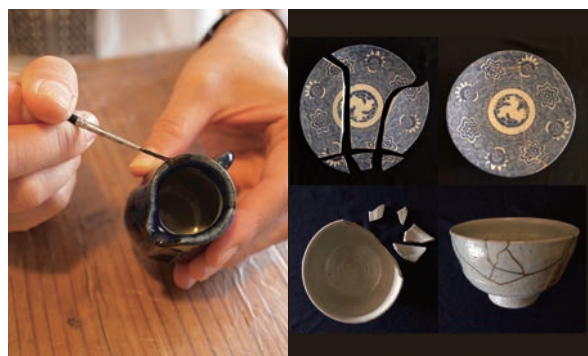
【金額】ランチ/11,000円(税込・サービス料別)

ご予約・お問合せ

レストランテAO 逗子マリーナ TEL.0467-25-0480



リビエラ東京

6/16(金)
ランチ付金継ぎワークショップ

お気に入りの器はいつまでも使い続けたい、そんな願いを叶えてくれるのが金継ぎ。割れたり欠けたりしても捨てられない大切な器を金継ぎで蘇らせ、毎日の食事をもっと特別なものにしてみませんか。

【時間】11:00~14:00(ランチ時間含む)

【金額】7,000円(税込)

※お膳ランチ3,520円(税込)は当日精算

【締切】6/13(火)正午まで

ご予約・お問合せ

リビエラライブデザイン倶楽部 TEL.03-5474-8008

アートのあるレストラン
アートに囲まれた空間で食事を愉しむ

「レストランテAO 逗子マリーナ」と「茶寮リビエラの庭」では、今年からお食事しながらアートも鑑賞いただいています。富士山を望む海の絶景や、緑豊かな都会の庭から感じる季節の移り変わりと共に、2ヵ月ごとに替わるアートをお楽しみください。作品は購入可能です。

レストランテAO 逗子マリーナ

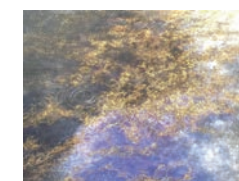
都心から約60分、リビエラ逗子マリーナの「旬を味わう」モダンイタリアン。月替わりのメニューと、富士山・江の島を望む全席オーシャンビューを求めて都内からの常連客もこぞって通う。葉山牛を提供できる「葉山牛指定飲食店」は現在15店のみです。



山田 勇魚(1・2月/終了)



Bruce Osborn(3・4月/終了)



村上 里沙(1・2月/終了)



中島 千波(3・4月/終了)



轟 友宏(5・6月)

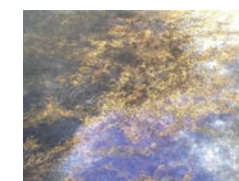


【住 所】神奈川県逗子市小坪5-23-16 リビエラ逗子マリーナ内
【定休日】火曜
TEL.0467-25-0480



茶寮リビエラの庭

池袋駅至近にありながら、滝の水音や木々のざわめき、小鳥のさえずりをBGMに食事を愉しめる和食レストラン。「レトロモダンな和」をコンセプトに、74周年を迎えた料亭「白雲閣」からの伝統を受け継ぐ、季節感溢れる料理を提供しています。大小さまざまな個室も利用できます。



安西 大(5・6月)



【住 所】東京都豊島区西池袋5-9-5 リビエラ東京内(立教大学前)
【定休日】火曜・水曜
TEL.03-3981-3264





自然と同期するトレーラーホテル
海から数メートルでととのう絶景サウナ

SPACE KEY POINT



スペースキーポイント リビエラ逗子マリーナ

〒249-0008 神奈川県逗子市小坪5-23-15
TEL. 0467-23-0005



RESERVATION



スペースキーポイント リビエラシーボニアマリーナ

〒238-0225 神奈川県三浦市三崎町小網代1286
TEL. 046-884-1006



RESERVATION



セルフワリュ可能な宿泊者専用のサウナで
海を眺めながら「ととのう」時間を大切に